

○事業所名	福岡市立めばえ学園		
○保護者評価実施期間	令和7年11月26日		～ 令和7年12月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	52	(回答者数) 44
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和7年12月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	親子通園と単独通園の2つの通園形態を柱として、年齢や個々の発達段階等に応じた計画的な発達支援を保護者と共有しながら実施している。年齢の異なる保護者交流も図りやすい。	親子通園では、保護者とお子さんのできているところや課題を共有しながら支援を行い、保護者が相談しやすいと感じていただける雰囲気づくりに努めている。単独通園では、お便り帳で日頃の様子を伝え、内容によっては電話、面談などでお子さんの様子や支援内容等を共有するよう努めている。	今後も、保護者との共有を図りながら、お子さん一人ひとりに合わせた丁寧な支援を提供できるよう、職員間で連携し実施していきたい。
2	園内に厨房があり、栄養士、調理業務員で手作りの給食を毎日提供している。	毎月、給食だよりを配信し、献立を保護者に周知したり、食育だよりでおすすめメニューを紹介し、作り方の動画をHP上で公開したりしている。食事の様子は担任から保護者に伝え、リクエストに応じてレシピを栄養士に依頼し保護者へ渡している。また、季節に合わせたイベント食やバイキング給食など企画し、子ども達が楽しく給食の時間を過ごせる工夫をしている。	今後も、厨房と保育で連携を図りながらお子さんが楽しく食事を摂る経験を重ねていけるように努め、家庭での食育にもつながるように園での様子を保護者にも共有していきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設が古く、老朽化がすすんでいる。	開所されて46年がたち、老朽化がすすんでいる箇所があるが、通園と並行して工事をすることが難しく、優先順位をつけて、土日や長期休暇等を利用して進めていく必要がある。	休みの期間を利用し保育室の棚の修繕やドアの加工を行った。年度末には園庭遊具の一部交換を行う。年度末からの春休み期間を利用して、保育室の棚の修繕、園内駐車場の路面補正等順次行っていく計画を予定している。引き続き、改修が必要な箇所を精査し、安心安全に過ごせる環境づくりに努めていきたい。
2			
3			